

## 第9章 運営体制

### 第1節 運営体制整備の方向性

新居関跡の運営に関する種々の業務は、管理団体である湖西市産業部文化観光課が主体となって実施している一方、職員数の減少にともない、近年は新居宿史跡案内人の会やシルバー人材センターに依存する部分が次第に増加している。また、特別史跡指定地内には国有地のほか、湖西市の都市整備部局や環境部局が管理する設備が混在しているため、特別史跡指定地内で何らかの事業を実施する場合は、これらの関係機関と相互に調整を図ることが重要である。

上記の新居関跡の現状や、第5章で掲出した基本方針を踏まえ、新居関跡の運営体制の方向性を以下のとおり示す。

#### 運営体制の基本方針

保存活用を担う人材の確保・育成に取り組むとともに、関係する組織や地域住民との連携を強め、より効果的な運営体制の構築を目指す。

#### 運営体制の方向性

- 庁内の関係部署や委員会、関係機関と連携しながら、適切な保存活用に取り組む。
- 多様な組織との連携体制を構築し、協働での保存活用の実施を図る。

### 第2節 運営体制整備の方法

#### (1) 計画の実施体制

人材の確保・育成や庁内の連携体制の構築に取り組み、適切な保存活用の実施に努める。

- ・湖西市の人事部局と連携を取りながら、学芸業務を専門的に行う新居関所史料館の常駐職員や、文化財の専門的知識を有する人材の確保と育成を図る。
- ・本計画の内容について全庁的に周知を図るとともに、都市整備部や環境部、教育委員会等の関係部署との連携強化を図る。

#### (2) 関係機関等との連携

関係機関との連携を強化するとともに、周辺住民や地元組織との連携体制を構築することで、市民協働での保存活用の実施を図る。

- ・国道301号の管理を行う浜松土木事務所との連絡調整を緊密に行い、道路工事を実施する際や歩道上の工作物に変更を加える際には、事前協議を行う。
- ・新居宿史跡案内人の会の新規会員募集や人材育成に関する補助金交付を継続するとともに、広

報活動や研修の開催等、組織運営や後継者育成の面で積極的に協力していく。

- ・適切な保存活用事業を実施していくため、文化庁や静岡県文化財課との情報共有を積極的に行い、必要に応じて指導・助言を求めていく。
- ・調査研究成果や特別史跡の保存活用について、整備委員会や運営委員会で積極的に共有し、委員による指導・助言を新居関跡関連事業へと反映していく。
- ・市民と協働での保存活用を推進していくため、新居まちネットなどの地元組織や周辺住民を対象とした意見交換会や説明会を定期的を開催し、協力体制を構築する。
- ・地元観光協会や商工会と連携し、より効果的な事業実施に努める。

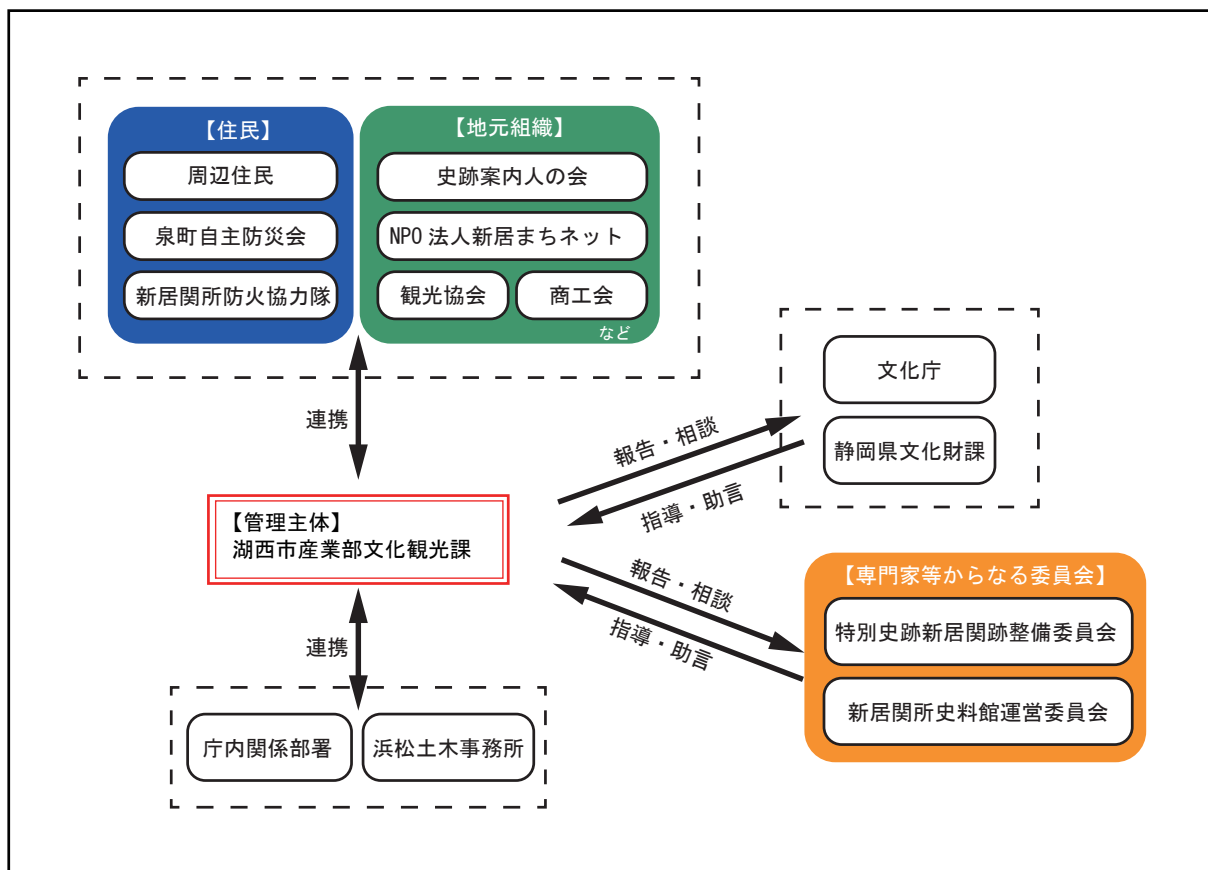


図 9-1 運営体制概略図